

News Release

2022 年3月 31 日
チューリッヒ保険会社

“気候変動の問題をともに考える契機に”YouTube チャンネル 『Green Music produced by Zurich』新コンテンツ公開

3 月は、天草、小豆島、九十九里、多摩川を舞台にしたアニメーションと癒しの音楽
sea-no、BROCKBEATS、石橋英子、岡田拓郎が思い出の風景を作曲

チューリッヒ保険会社（東京都中野区、日本における代表者および最高経営責任者：西浦 正親）は、YouTube 公式チャンネル『[Green Music produced by Zurich](#)』の 3 月公開 4 作品をご紹介します。当社は、喫緊の課題である気候変動の問題を日本の皆さまとともに考える契機にしたいとの考えから、2022 年 1 月 7 日より本チャンネルを始動しました。この取組みに賛同した新進気鋭のミュージシャンがそれぞれ思い入れのある日本の自然豊かな土地をテーマに個性豊かな楽曲を書き下ろし、さまざまなアニメ作品に参加してきた新井陽次郎監督がアニメーションを担当します。3 月は、sea-no、BROCKBEATS、石橋英子、岡田拓郎が、それぞれ天草、小豆島、九十九里、多摩川を舞台に奏でる癒しの音楽をお届けします。



『Green Music produced by Zurich』始動の背景

チューリッヒ・インシュアランス・グループは、2014 年以来カーボンニュートラル企業として事業を行っており、2019 年には地球温暖化を 1.5°C に制限することを掲げた国連のグローバル・コンパクト「Business Ambition for 1.5°C」に最初の保険会社として署名しました。また 2020 年にはブラジルで Zurich Forest という森林再生プロジェクトを立ちあげ、地球環境問題に積極的に取り組んでいます。しかし、保険会社一社が貢献できることはほんのわずかです。この問題を解決するために、私たちだけではなく、世界中が想いを一つにし、ともに向き合うことが大切であると考えています。そこで私たちは、日本の皆さまにこの危機に対して関心を持ち、それぞれの立場で行動を起こす「きっかけ」をご提供できればと考えています。その第一弾としてこの YouTube チャンネルを始動しました。

公式 SNS Facebook: <https://www.facebook.com/ZurichJapan>
Twitter: <https://twitter.com/ZurichJapan>
Instagram: https://www.instagram.com/zurich_japan/
TikTok: https://www.tiktok.com/@zurich_japan

気候変動に関する特設サイト: <https://www.zurich.co.jp/sustainability/>

2022 年3月の公開コンテンツ

sea-no 『そよ風のさんぽ』 <https://youtu.be/AmBgRhThO1w>



■作品概要

そこは熊本県の天草。sea-no さんが思春期までを過ごした、山あいには流れる穏やかな音色が織りなす、『そよ風のさんぽ』が響きわたる。

■sea-no コメント

天草は、6歳から 15 歳まで過ごし、とても影響を受けた大切な場所です。自然豊かな山の中で、祖母と家族と、沢山の猫達と共に暮らしていました。山への入り口から家までの道、さらに登った先の神宮、生息する植物や猫達を思い出しながら、ひとつひとつゆっくりと辿るように音楽を作らせて頂きました。穏やかな時間の流れる場所ですので、柔らかい音のピアノや可愛さのある音を中心に構成しています。そんな情景を思い浮かべながら、聴いている方に寄り添える音楽になれたなら幸いです。

BROCKBEATS 『にぎやかな島風』 <https://youtu.be/666Dxs78HC0>



■作品概要

そこは香川県の小豆島。BROCKBEATS さんが魅了された、瀬戸内海に浮かぶ小豆島の音色が織りなす、『にぎやかな島風』が響きわたる。

■BROCKBEATS コメント

3年前の瀬戸内国際芸術祭で瀬戸内海の島々を訪れ、瀬戸内海の穏やかな海と日本一晴れの日が多いという気候が気に入って香川県に移住しました。小豆島はその気候の良さでオリーブの栽培に一番適している場所らしく、島のいたる所にオリーブの木が生えていてどこか異国のような雰囲気もあり大好きな場所です。島というのは生活のほとんどが海の幸と山の幸に恩恵を授かっていて、人と自然がうまく共存しているバランスの取れた場所だなと感じます。今回音楽を制作するにあたってイメージを膨らませる必要は無く、気が向いたらフェリーで島に行き、穏やかな海を眺めてその景色をそのまま音楽に変換するという作業でした。瀬戸内海や島の穏やかさ、旅の高揚感を感じていただけたらと思います。今年は3年ぶりの瀬戸内国際芸術祭なのでコロナが落ち着いたなら是非足を運んでみて欲しいです。

石橋英子『北風のさえずり』 <https://youtu.be/6B8SiJabs88>



■作品概要

そこは千葉県の九十九里浜。石橋英子さんが青春時代に通っていた海岸線の音色が織りなす、『北風のさえずり』が響きわたる。

■石橋英子 コメント

自分の故郷の風景は田んぼのど真ん中に車や冷蔵庫が捨てられていたり、林を抜けると突然ポツンと人がいるのかいないのかわからないような工場が現れたりするような風景でした。そんな切り貼りしたような風景が自分の音楽に与えた影響は大きいような気がします。今回の曲も人工的なものと自然から受けた豊かさみたいなもののバランスが崩れないように、という気持ちで作りました。

岡田拓郎『初夏のかおり』 <https://youtu.be/W EG2p9O190>



■作品概要

そこは東京にある多摩川。岡田拓郎さんの実家のそばで青々と育つ茶畑と懐かしい記憶が織りなす、『初夏のかおり』が響きわたる。

■岡田拓郎 コメント

馴染みのある自然を題材に制作…ということで、自分にとっての自然の記憶を掘り起こしてみても最初の記憶として思い当たるものは、2、3歳頃まで過ごした青梅市今井の田園風景。居間と庭を隔てる引戸を引くと茶畑が一面に広がっていて、自分の足で歩くことが出来るようになってからはそこが格好の遊び場になった。土の感触や風の匂い、木擦れの音はきっとそこで初めて覚えた。今でこそ腰ほどの高さのお茶の樹も、小さな子供には背丈ほどの高さで、それが一面に広がるのでちょっとした迷路のように感じた。今回の制作に際して再び今井へ足を運ぼうかと思ったが、実際の今井の風景をモデルにするのではなく、見るもの触れるもの全てが不思議に感じたその自身の幼少期の記憶を辿りながら、あの頃の今井の風景のための音楽を書いてみようと思ってみました。

監督／参加アーティスト プロフィール

【監督】

新井陽次郎

1989 年生まれ、埼玉県出身。フリーランスのイラストレーター、アニメーター・映像監督。
2008 年よりスタジオジブリにて『借りぐらしのアリエッティ』『風立ちぬ』などの作品に動画として参加。
2012 年にスタジオコロリドに移り『ペンギン・ハイウェイ』でキャラクターデザイン・演出、『ポケモン 薄明の翼 第 2 話』で絵コンテ・演出を担当。2020 年よりフリーランスとして活動。

【アーティスト】

sea-no

1992 年生まれ、2013 年から作曲活動開始。
エレクトロニカ・アンビエントを得意とし、やわらかく、少し仄暗い雰囲気を好んで制作。作詞作曲・ボーカルを自らが務めるコンセプトアルバム「薬草」「薬草2」をリリース。
ピアノで聴く tipToe、「pianolesson」にて、ピアノアレンジを担当する。
動画・イラスト・音楽、幅広いジャンルで活動を行っている。
<https://twitter.com/sealoid>

BROCKBEATS

代表的なローファイ・ヒップホップ・アーティストが数多く所属するドイツのレーベル Vinyl-Digital に 2016 年から所属。欧米を中心に Spotify だけで年間 1,600 万回再生されている日本人トラック・メイカー。
2017 年にリリースしたアルバム「Calm Life」は国内外で高い評価を受ける。最近では企業の PV や TV 番組のオープニング曲なども手掛けている。
<https://twitter.com/brockbeats>

千橋英子 / EIKO ISHIBASHI

千葉県出身、日本を拠点に活動する音楽家。電子音楽の制作、舞台や映画や展覧会などの音楽制作、シンガー・ソングライターとしての活動、即興演奏、他のミュージシャンのプロデュースや、演奏者として数多くの作品やライブにも参加している。近年では劇団マームとジプシーの演劇作品や、アニメ『無限の住人 - IMMORTAL -』、映画『ドライブ・マイ・カー』の音楽を担当。ピアノ、シンセ、フルート、マリンバ、ドラムなどの楽器を演奏する。2022 年の最新作は Black Truffle よりリリースされた『For McCoy』。

岡田拓郎

1991 年生まれ。東京都福生市育ち。音楽家。2012 年にバンド「森は生きている」を結成。2 枚のアルバムを残し 2015 年に解散。ソロ名義では 2018 年に Steve Hiett のカバー曲を含む『The Beach EP』を、2020 年に『Morning Sun』、ドローン作家 duenn との共同名義で 2020 年『都市計画』などをリリース。自動 BGM 生成デバイス AISO を用いた環境音楽の制作にも携わる。菊地健雄監督作品、映画『ディアーディアー』をはじめ、映画音楽も制作。